

# だ い せ ん

令和3年2月25日

発行 美保だいせん会  
印刷 東京印刷株式会社

## 令和2年度美保基地優秀隊員表彰

### 美保基地協力会が3名の隊員を表彰

令和2年12月9日(水)、第3輸送航空隊小講堂において令和2年度美保基地優秀隊員表彰が開催された。

本表彰は自衛隊員として真摯に職務に精励し、かつ地域社会との交流に努め貢献の高者の中から、基地協力会が特別に賞賛に値する隊員を選抜してその功績を年に一度優秀隊員として表彰が行われるものである。本年度は3名の隊員が受賞の栄誉に輝いた。



司令部庁舎前で記念撮影



千歳 大輔1曹

上田 賢2曹

池口 大祐2曹

#### 【被表彰者】

- 飛行群第41教育飛行隊 池口 大祐2等空曹
- 整備補給群検査隊 上田 賢2等空曹
- 基地業務群通信隊 千歳 大輔1等空曹

受賞隊員たちは最後に司令部庁舎前において記念撮影を実施し、優秀隊員表彰は無事終了した。

表彰であった。表彰式では、美保基地協会の会長・奥森清氏から「皆さんは、各種スポーツ指導やボランティア等の場面で積極的に活動されました。そして、地元根付き地域住民との密接な関係を構築し、境港市・米子市民となつて、様々な場面で大きく貢献しておられることを本当にありがたく思っています。」

自衛隊は全国のいろいろな所で活躍しておられます。最近では新型コロナウイルス対策で全国の医療機関等で支援をおこなない、一人の感染者をだすこともなく無事任務を完了して帰ってくるという大変素晴らしい活躍をしてこられました。国民の多くは、この状況において自衛隊の存在を感じ、この功績を十分に認識しております。

我々美保基地協力会は、これからも自衛官の立場、処遇等の改善について声を上げていき、隊員の皆さんが国を守って頂ける組織、或いは人達であるというのを広く知らしめていかなければならないと考えております。

今後、美保基地協力会は他の4団体とともに、美保基地並びに隊員の皆さんの地位向上の為、いろいろな場面を活用して発信していきたいと考えております。隊員の皆さんも引き続き、境港市・米子市民等のため貢献していただければと思っております。(要旨)と祝辞を述べられた。

## 美保基地成人祝賀行事

### 16名の隊員たちが決意表明

1月15日(金)、美保基地は成人祝賀行事を3輸送隊小講堂において開催した。

例年、隊員食堂で開催されていた同行事は、新型コロナウイルスの感染予防対策のため、ご来賓の出席及び会食を自粛し新成人と関係者のみが参加して式典のみの開催となつた。式では、名前を読み上げられた新成人たちが、壇上に上がり、新成人としての決意表明書いた色紙を持って決意表明を実施した。

美保基地司令の塩川1佐から新成人たちにお祝いの言葉が贈られた後、新成人の代表として、整備補給群修理隊、中島良成士長から新成人としての決意が述べられた。中島士長は「二十歳を迎え、自衛官として、そして、社会人として必要なのは、誠実に責任ある行動をするためにはどうすれば良いのかと考えた時、頭に思い浮かぶのは、基地司令の「利他の心」という言葉です。自分の欲に打ち勝ち、他人の利益を重んじる献身的な気持ちを持つことは簡単な事ではありませんが、社会全体の奉仕者である自衛官にとって必須の精神であると考えます。いざという時、自らに危険があったとしても任務を遂行し、国民に寄り添い、命を守るのには私たちが「利他の心」があれば、人を思いやり、一人の社会人として一人の自衛官として成長することが出来ると思います。またそれは、家族や大切な人への恩返しであると思えます。」



誓いの言葉を述べる中島士長



塩川司令から記念品を贈呈

今後「航空自衛隊の進化」は、その歩みを決して止めることなく着実に進んでいきます。その進化の原動力は隊員一人ひとりであるため、自身が「進歩」、航空自衛隊の進化に寄与したいと考えます。そのため私たちが自分

の可能性を信じ、失敗を恐れず挑戦する気持ちを持ち、若さと勇気と行動力を発揮します。」と抱負を述べた。最後に、基地准曹士先任の柴田准尉から、新成人たちにお祝いの言葉が贈られ成人祝賀行事は終了した。



新成人たちが記念撮影

## 除雪隊編成完結式を挙行

### 24時間態勢で空港機能を維持



力強い車両行進の様子

令和2年12月18日(金)、美保基地は冬季の降雪に備え、飛行場地区において基地除雪隊の編成完結式を挙行した。編成完結式では、除雪隊長の基地業務群司令・荒木克美1佐が指揮を執り、美保基地司令・塩川1佐に対して編成完結報告を実施した。

塩川司令は、除雪隊員たちを前に「今年はこの数年見られたような雪の少ない冬というわけにはいかないようです。君たち除雪隊員は昼夜を問わず、二十四時間、雪に備えて待機し、ひとたび大雪となれば、いついかなる場合でも、速やかに態勢をとり、全力で雪に立ち向かう存在でなければなりません。これから始まる長い雪の季節を迎え、除雪にあたる君たちには、余人をもつて替え難いこの任務に、強い責任感と誇り、そして何より、厳しい雪と闘う覚悟を持って臨んでもらいたいと思えます。」(要旨)と訓示を述べた。

最後に、除雪隊車両による車両行進が実施され編成完結式を終了した。



車両行進を指揮する荒木除雪隊長



「先人の足跡をたどって」

私は、入隊して今年で二十五年になる。日本各地で勤務してきたが、山陰地方の美保で勤務するのは初めてである。かつて一緒に勤務をした同僚が若干いるものの、山陰地方については殆ど未知の場所であった。普通なら不安だらけでの赴任となるのだが、今回はそうではなかった。何故かという、私の趣味は歴史を調べることなのであるが、山陰地方は、有名な史跡や神社仏閣が多数あり、今まで書籍等でしか見る事の出来なかつた史跡等を実際に見て回る機会を得ることが出来るからである。これは私にとってこの上ない喜びであり、転勤が決まった時からワクワクしたからその日待つこととなった。

山陰地方で有名なものといえば、大山寺、出雲大社、松江城。これだけの見所がある地域は全国でもあまりないのではないかと。また、小泉八雲等歴史上の著名な人物も多数輩出している。

そんな中でも私が特に興味を持っているのが、旧日本陸軍軍人だった八原博通大佐である。八原大佐は米子市出身で旧制米子中学(現米子東高校)を経て、陸軍士官学校、陸軍大学校を卒業し米国に留学。その後、陸軍省等で勤務後、戦争末期の沖繩戦で第三十二軍高級参謀として沖繩防衛戦の作戦立案、後に米軍から見事な作戦だったと高い評価を得た人物である。

日本の行く末を左右する重要な作戦の当事者であった八原大佐の故郷であるこの山陰地方で彼の足跡をたどると、新しい発見が出来ればと考へている。皆さんも歴史的に恵まれたこの地方で、新たな発見をしてみては如何だろうか。

【山陰新発見】



# クリスマスドロップを開催

## 園児たちはサンタさんに大興奮!



サンタが美保基地にやってきた

令和2年12月21日(月)、美保基地はクリスマスドロップのイベントを開催した。

クリスマスドロップとは、米空軍がクリスマスの時期にサンタクロースからのプレゼントとしてミクロネシア諸島の子供たちに衣料品やお菓子等を投下しているボランティア活動で、近年は航空自衛隊のC-130輸送機も参加している。

美保基地でも年末のクリスマス時期に、通常の物料投下訓練にちよとしたアレンジを加え、地元の子供たちに喜んでもらえる企画としてクリスマスドロップを実施している。今年も境港市の「せんだん保育園」の園児19名が参加してくれた。

午前10時頃、美保基地上空に飛来したC-2輸送機から子供たちへのプレゼントを模擬した物料がパラシュートを利用して投下された。その後、着陸した同機から、サンタクロースやトナカイが扮した隊員達が登場すると園児たちの興奮は最高潮に達し、「サンタさん」と呼ぶ大きな声が飛行場地区に響いた。

例年であれば、サンタクロースやトナカイが園児たちに直接プレゼントを渡すのだが、今回は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、代表の保育士の方にお渡しする方式で実施された。

保育士の方からプレゼントを貰った園児たちはとても嬉しそうに、「元氣な声で「ありがとう」とお礼の言葉を言ってくれた。

最後に園児たちから、プレ



園児の皆さんがお礼の歌を披露してくれました

ゼントのお礼にと「あわてんぼうのサンタクロース」の歌が披露された。一生懸命歌ってくれた園児たちの姿に隊員達から自然と手拍子が起こり、寒さで震える会場が春のような暖かさになりました。

コロナ禍で多くのイベントが中止となり、プラスチックシヨンが溜まっていた隊員たちも久々の地域交流に満足するような表情を浮かべていた。

# 里地里山を走る!

## 「なんぶ里山チャレンジャー」に出場



素晴らしい景色を楽しみながら走れます

数々のイベント・大会が中止されるなか、時差スタター、チエックポイントで撮った写真を投稿サイトに送ることで通過チエックするなど、スタッフを極力減らし感染予防対策を十分に実施し開催された、「第0回(プレ大会)なんぶ里山チャレンジャー」に参加しました。

南部町の里山フィールドをメインにロード&トレイル混合で約20kmのコースです。

スタート後すぐに長田神社に続く階段を上り、トトロの森として有名なプロコッリミたいな小原神社が第1ポイント、のどかな里山の風景を楽しみつつ、第2ポイントの母塚山展望台へ向かいます。登

り本格的なトレイルで山頂へ苦しみながら到着、チエックポイントでパチリ!画像を送信、ロードを下ります。しばらく田園の中を走り、第3ポイントは再生神話で有名な赤猪岩神社、第4ポイントの清水井を過ぎると、ゴールは目前です!春は桜並木で綺麗な法勝寺川沿いを走っていると、後ろから迫るプレッシャー!あの方は!!4代目T・KATUさん!見事にぶち抜かれました!先輩の背中を拝みつつゴール!!なんとか完走し、南部町の特産品をお土産にもらって、ほっこりしながら充実感とともに帰路につきました。コロナ禍においても、このような楽しい大会を創出工夫と熱意で企画・運営して下さったスタッフ、ボランティアさんに感謝です。記念すべき第1回大会は負けねーぞ!と心に誓ったのであります!(あげあげ底ランナー)

# C2-12号機を配備完了

## 各種対処能力が向上



美保基地に到着した12号機

令和2年11月20日(金)、第3輸送航空隊は、新たにC2輸送機、212号機の配備を完了した。

午後4時頃、美保飛行場上空に姿を現した212号機はトラブルもなく無事着陸した。

同機の飛行群第403飛行隊への配備完了でC2輸送機は10機態勢となった。

配備を完了した同機は、受け入れ検査等を経た後、任務運航が開始された。今後、3輸送隊の更なる

# 自分はコロナ感染者!

## 冗談のつもりでは済まされず...



だいでん新聞の法律ミコナー、かなり久しぶりの記事となりました。この間には新型コロナウイルスの感染が拡大し、私たちも感染症対策に注力しているところです。

さて、そんな新型コロナウイルスに関連して、「自分はコロナ感染者だ」と騒いで逮捕というニュースが相次いでおります。これを聞いて、「確かに悪質だけれど、逮捕までされるのか」「体どんな犯罪になるのだから?」と、法律問題として関心を持たれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

いゆる「ウソ」だと想像がつかないですが、「威力」というと何だか漠然としたイメージです。「感染症に罹った」と騒ぐこと「威力」に該当するのでしょうか?

法令解釈上、「威力」というものは結構広く捉えられています。裁判などでは、「相手方の自由意思を制圧するに足りる勢力」とも表現されており、「一般的に言う「暴力」に限られません。古い事例ですが、過去には営業中の食堂で蛇を掴まいて威力業務妨害罪、なんてケースも...つまり、自分がコロナ患

者だと騒ぐ行為が、他人の自由意思を制圧するだけの影響力を持つと評価された場合、それだけでも「威力」を用いたと判断される可能性があるのです。

捕まてから「冗談のつもりで、こんなことになると思わなかった」との釈明の言も聞かれますが、それでは済まないこともあるのが世の中です。もしも身近に、普段から際どい冗談が目立つような方がいたら、こそりクギを刺してあげて下さいね。(法務班員)

# わたしのおとうさん

豊岡小学校(埼玉県)4年 青地志歩さん

第403飛行隊 青地泰雄2曹 長女



写真左が志歩さん

私のお父さんはたくさんの子供や犬に好かれるほどやさしい人です。

ご飯中も家族を明るくする光のような存在です。でも、たまに冗談が多すぎて妹が怒ります。

しゃべるのがとても上手で、一緒にお風呂に入っている時には私の学校の悩みなどをおもしろおかしく解決してくれます。

私もお父さんみたいにおもしろくなりたいのですが、お母さんがダメって言います。

私はそんなお父さんが大好きです。







